

株式会社松竹工芸社

福島県西白河郡西郷村

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

独自の桐材スライス・着色法を確立 業務プロセス改善と多能工化で実現へ

同社は「雲母」や「コルク」等、自然素材を原料にした壁紙製造をしてきた。平成19年度の地域資源活用新事業展開支援事業を機に、「桐材」を用いた高付加価値の壁紙開発に成功し、現在の主力商品となっている。平成30年度には「桐壁紙」のデザイン性が認められ、公益財団法人日本デザイン振興会のグッドデザイン賞（デザインによって暮らしや社会をよりよくしていくための活動）を受賞。技術・デザインの両面で定評を得て、国内外高級ホテルや商業施設の壁紙として販路を拡げている。

- | | | | |
|----------|---------------------------|--------|---------|
| ● 所在地 | 福島県西白河郡西郷村大字米字米村 64-1 | ● 設立 | 1963年 |
| ● 電話/FAX | 0248-25-1200/0248-25-1110 | ● 資本金 | 1,000万円 |
| ● URL | — | ● 従業員数 | 7人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 小針 悦也 | | |



生産性向上

商品づくりに手間を惜しまないことが同社のこだわり

自然素材を用いた壁紙は手間をかけることで価値に結び付けてきた。桐材の壁紙は、染色による着色工程と素材の持つデザイン性を活かした「編込み」「寄木（よせぎ）」「象嵌（ぞうがん）」の手法を用いた工程を経て商品化する。同社は桐材をブロックスライスする独自技法の確立に加え、スライスした素材を内部まで染色する着色手法を開発。デザイン性に優れ、深みのある色を桐に持たせることに成功し、オンリーワンとなる高付加価値の商品づくりができたのである。



2018年度グッドデザイン賞受賞の壁紙

業務プロセスの全面見直しが事業拡大を後押し

従来、同社が製造する自然素材を用いた壁紙は人手による工程が多かった。丸太を入荷してから製材、製造、出荷までの工程を細分化すると、およそ15工程にもなる。一方、手間をかけることで価値に結び付けた商品でもあった。今後の事業拡大のため、プロセスの見直し及び工程の機械化・簡略化に結びつく工法の確立を積極的に推進。工法実現のための装置を導入し、結果として6工程の機械化を実現させたのである。商品価値を維持しつつも業務効率化を図り、さらなる事業拡大に挑み続ける。



工法実現に導入した樹脂加工機

多能工化とモチベーション向上で実現する従業員の定着化

高齢化や人手不足等の問題を克服するため機械化を推し進めてきた。加えて、個々の従業員の力を最大限発揮させて同社全体の生産性を押し上げるべく、積極的に多能工化を促進している。また、業務面だけに留まらず、福利厚生の充実及び社内での従業員間コミュニケーションをより一層活発化させた。あらゆる角度からアプローチした施策を講じることによって従業員のモチベーション向上を図り、低離職率を実現している。商品づくりへのこだわりは、人材確保・育成に対しても好影響を与えている。



同社従業員のみなさま

ものづくり